

## ブレークスルー

校長 神田 朋恵

2月の講話朝会で読んだお話を紹介します。

努力のつぼ 角野 愛 (小学校1年)

「お母さん、努力のつぼの話、またして。」「うん、いいよ。今度はなあに。」

「逆上がり。」「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。随分大きいねえ。」

と言いながら、お母さんは椅子を引いて、私の前に座りました。そしてもう何回もしてくれた努力のつぼの話をもたゆくりと始めました。それはこんな話です。

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼはいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいやら小さいやらいろいろあります。そしてそのつぼは、その人の目には見えないです。でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」があふれる時、つぼの大きさが分かるというのです。だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きました。

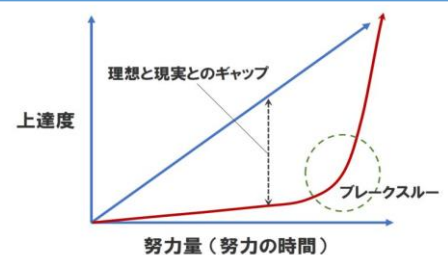
その時は、横ばしごの練習をしている時でした。それから一輪車や、鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でも頑張っている時、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして私の「努力」がもう少しであふれそうに見えるのです。だからまた頑張る気持ちになれます。

お母さんの言うとおりの、今度の逆上がりのつぼは、随分大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも今度こそ、あと少しであふれそうな気がします。だから明日からまた頑張ろうと思います。

お母さんは「つぼが大きいととても大変だけど、中味がいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」と言ってくれるけど、今度神様にもらう時は、もう少し小さいつぼがいいなあと思います。

『朝日作文コンクール 子どもを変えた親の一言 作文 25 選』明治図書1988 (原文の平仮名を漢字にしました。)

我々は目標をたて、達成しようとするとき、右図の青い線のように、努力を重ねていきます。努力を重ねていくと少しずつできるようになる、そうあってほしい、誰でもそう願います。しかし現実には、違います。なかなか達成(成功)はしません。それは何故か。成長は加速度的に訪れるからです。赤い線のように。ブレークスルーと言われるものです。



【参考】成長曲線とは ([goalsettinglab.net](http://goalsettinglab.net))より

努力を重ねても重ねても重ねてもなかなか目標に到達しない、とても苦しく、辛い時期があります。でも、成長は加速度的に訪れる、これを知っているだけで、違うと思いませんか。少なくとも、見えない努力のつぼに、まだ努力をためようと、もがくと思うのです。その間に必要なのは、我々大人(保護者、教師、地域の方々)の応援=励ましです。語弊があるかもしれませんが、私たちにできることは、究極的にこれだけだと考えます。子どもたちは、今年度、どのくらいブレークスルーをしたでしょうか。

今月の生活目標は「心と体の健康と体力を高めよう」です。1年の締め括りをするために、目標を見つめなおしている子もいるでしょう。我々教師も保護者、地域の皆様と共に、子どもたちの背中をぐっと支える存在でありたいと強く思います。お子様のことで御心配な点がございましたら、どうぞ御相談ください。今月もどうぞよろしくお願ひいたします。